



おいらの エーデル

Oirano love edel vol.5

エーデル土山ショートステイ通信

いつもエーデルのショートステイ通信『おいらのエーデル』をご覧いただき、まことに有難うございます。暑い、本当に暑い夏が終わりました。ようやく・・・といった言葉がびったりですね。

しかし、今年の夏はなぜこれほど暑かったんでしょう？温暖化により地球全体の温度が上がっているそう35度を超える猛暑日が、昭和の時と比べて、ものすごく増えているようです。私のような30代でも体力的にきつかったので、「高齢者になれば、なおのこときつかったと思います。9月になっても暑い日があるようですが、夜などはさすがに涼しくなってきました。この秋に夏の疲れを癒し冬に備えたいですね！

エーデルからのお知らせ。

このたび、エーデルのショートステイのお部屋からすぐ出た場所に、『芝生スポット』を作りました。今後は、季節の花や、ガーデニングを楽しんでいきたいと思えます。もしご自宅からお気に入りの植木鉢などをご持参いただければ、飾らせていただきますので、お気軽に奥村までお声をおかけください。

過ごしやすい季節になりましたので、どんどん芝生スポットを活用していき、癒しの時間を提供できればと考えております。乞うご期待でお願いします！



エーデル ショートステイ『秋のおたのしみ』

エーデルのショートステイでは、お楽しみ行事を毎月催しております。秋のお楽しみ行事は、『ポプリケース作り』を実施しています。ポプリケースとは、良い香りの元をケースに入れ、かわいい刺繍で包み込んだものです。とても良い香りが出ますので、是非、お部屋に飾っていただければと思います！



エーデルの送迎車について

H24年度中央競馬馬主社会福祉事業団さまの助成を受けて、この6月より日産NV300という車種を導入致しました。この車両は、主にショートステイで活用しておりますが、社内空間が広く、車椅子を2台乗車できるという優れたものがございます。

従来の軽車両よりも、パワーがあり、乗り心地も快適です。で、ショートのご利用者にも大変、ご好評を頂いております。実はこの車両、その使い勝手の良さから、ニューヨークのタクシーにも採用されているんです。すごいですね。



奥村哲弥のコラム 第5回 『かぼちやの味』

うそか、本当か？

僕の父は、幼少のころ、戦後で食べ物が少なく、非常に空腹で、辛かった思い出があるようだ。だから、僕が卵かけご飯を食べているのを見ると必ず言うことがある。

『昔はな、卵が手に入らなくて、かぼちやを卵かけご飯のようにかけて食べていた』と。

これは、本当の話なのか知りたくて、ご利用者さまに聞いてみると、確かにそんな食べ方をしていたという方が数名おられた。

はつきり言ってしまうと、卵なんてものに、僕は貴重さを感じたことがない。これは、僕が特別だということではなく、僕の世代の人間ならば、ほとんどは皆同じ感想だろう。父もさすがに今は、卵にありがたみを感じてはいないだろう。そう思っていた。ただ単に懐かしさを感じているだけだろうと。

幼少のころに食べた、そのかぼちやの味は、濃厚に父の記憶に残っているのか、ことあることに父は何度もその話を繰り返した。そんな父に僕は、子供の頃に食べた、そのかぼちやの味は、一体どんな味だったのかを聞いてみた。

父曰く、そのかぼちやの味は……

『その当時のかぼちやはな、現代のかぼちやよりも十倍美味かった。』らしい。

かぼちやが本当に美味しかったのか、父が感受性の強い幼少期の思い出を美化しているのかは定かではない。しかし、父の脳裏に焼き付いては離れない、その当時のかぼちやを食べたいのは、きっと僕だけではないはずだ。